

久留米大学を受診した患者さんへ

「Polymethylmethacrylate 膜 hemofilter の膜面積の違いによるサイトカインの吸着除去性能と回路内圧の臨床的比較検討」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：平成 24 年 10 月から平成 26 年 5 月
- 2) 受診科：高度救命救急センター
- 3) 対象疾患名：汎発性腹膜炎術後症例
- 4) 使用する情報：診療情報

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学病院 高度救命救急センター
研究代表者：職名 教授 氏名 坂本 照夫
研究分担者：職名 臨床工学技士 氏名 山香 修
職名 教授 氏名 山下 典雄
- 2) 研究の意義と目的：透析膜（PMMA 膜）の膜面積の違いによる炎症性物質の除去性能を比較します。
- 3) 研究の方法：2012 年 10 月から 2014 年 5 月に、当院高度救命救急センターにて、PMMA 膜を用いて血液浄化療法を施行した 汎発性腹膜炎術後症 20 例のデータを収集し解析を行います。
- 4) 研究期間：平成 27 年 7 月倫理委員会承認後～平成 28 年 7 月 31 日
- 5) 上記の情報の使用を選定した理由：2012 年 10 月より、現行使用していた透析膜（膜面積 1.0m²）から膜面積 1.8m²に変更を行ったため、その効果を確認するためです。
- 6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：調査より得られた情報を取り扱う際には、被験者の秘密保護には十分注意する。個人情報には連結可能匿名化を行う。日付は、研究期間のみとして、個人の特特定ができないように十分配慮する。
- 7) 研究成果の発表の方法：

日本急性血液浄化学会雑誌に投稿予定。その際、個人が特定できるような情報は、一

研究番号 15099

切含まれません。

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

（代表者氏名）（臨床工学センター、臨床工学技士）山香 修

（住所）福岡県久留米市旭町 67 番地

（TEL）0942-35-3311